

2025 年 2 月

No.25-015a(全)※5

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。
弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

■新規受託項目

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	安定性 保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
—	S2,3PSA% 5D304-0000-023-024	血清 0.5	01番 ↓ 02番	7日 冷蔵	3~8	248 生Ⅱ	LBA (LBA-EATA)	38.0未満 (カットオフ値) (%)	裏面参照

●S2,3PSA%に関する留意事項

- 前立腺特異抗原(PSA)4.0~10.0ng/mLの方が本検査の対象となります。
- 上記に当てはまらない場合や検診・健診目的では使用できません。
- 採血後、速やかに血清分離してください。

$$S2,3PSA\% = \frac{S2,3PSA}{S2,6PSA + S2,3PSA} \times 100$$

■受託開始日

- 2025年2月25日(火)ご依頼分より

以上

S2,3PSA%

PSA グレーゾーン症例において、前立腺癌の診断補助に有用な検査です。

前立腺特異抗原(PSA)は前立腺癌における有用な腫瘍マーカーです。しかし、グレーゾーンである PSA 4.0～10.0ng/mL の場合、単独では良性疾患である前立腺肥大症か、悪性疾患である前立腺癌かを鑑別することができません。

近年、前立腺肥大症などの良性疾患で見られる正常組織由来 PSA(S2,6PSA)と、前立腺癌で見られる癌組織由来 PSA(S2,3PSA)の糖鎖構造の違いを活用して鑑別を行う S2,3PSA%が保険適用されました。

本検査は、S2,6PSA と S2,3PSA の総和における、S2,3PSA の割合(S2,3PSA%)を報告する項目です。

■検査要項

検査項目名	S2,3PSA%
項目コード	—
検体量	血清 0.5 mL
容器	容器番号01番⇒02番 ※速やかに血清分離してください。
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3～8日
検査方法	LBA(LBA-EATA)
基準値(単位)	38.0 未満(カットオフ値) (%)
報告範囲(単位)	20.0 未満、20.0～80.0、80.1 以上 (%)
桁数	有効3桁、整数2桁、小数1桁
検査実施料	248 点*1 (「D009」腫瘍マーカー「31」)
判断料	144 点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備考	<ul style="list-style-type: none">基準値は、PSA4.00～10.0ng/mLにおける前立腺癌と前立腺肥大症等との判別に用いるカットオフ値です。採血後、速やかに血清分離してください。

*1

- ア 「S2, 3PSA%」は、前立腺癌であることが強く疑われる者であって、前立腺特異抗原(PSA)の結果が 4.0ng/mL 以上 10.0ng/mL 以下である者に対して、LBA 法(定量)により、S2, 3PSA%を測定した場合に限り算定できる。
- イ 本検査は、前立腺癌の診断に当たって実施した場合に、原則として1回を限度として算定する。ただし、前立腺針生検法等により前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。
- ウ 「S2, 3PSA%」と、「前立腺特異抗原(PSA)」、「遊離型PSA比(PSA F/T比)」又は「プロステートヘルスインデックス(phi)」を併せて実施した場合には、いずれか主たるもののみ算定する。
- エ 診療報酬明細書の摘要欄に、前立腺特異抗原(PSA)の測定年月日及び測定結果を記載すること。また、本検査を2回以上算定する場合は、本検査の2回以上の実施が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

■参考文献

米山 徹, 他: 医療と検査機器・試薬 46(5):244～257, 2023. (検査方法参考文献)

米山 徹, 他: 日本臨牀 81 (増6):58～64, 2023. (臨床的意義参考文献)